

2020 年 6 月 20 日

KEPT 認定施工店 御中

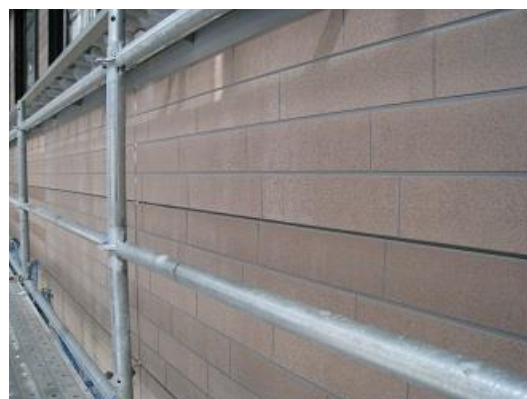
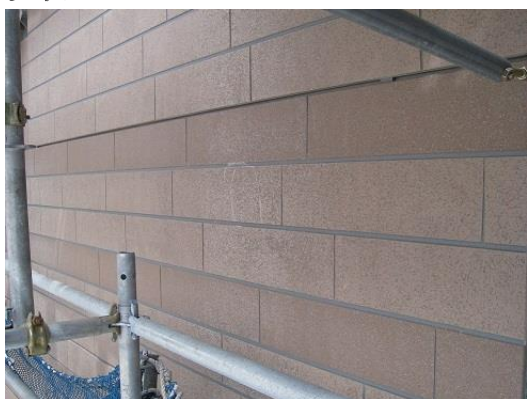
スーパーKEPT上塗 塗膜白化について

今回、スーパーKEPT上塗施工後、数日経過した後の降雨により塗膜が白化した現象が発生した事案について報告致します。

概要

当現場でスーパーKEPT上塗を施工。施工後、数日経過した後降雨があり、降雨後に仕上がりを確認すると部分的に水が流れたと思われる箇所の塗膜が白化し、付着が弱い状態になっていた。

現状



現状拡大



現状正面



中塗り



健全箇所



原因

一般的に降雨によるクリアー塗膜の白化は、施工初期に塗膜の造膜が完全に進まないうちに水を含み、白濁することにより発生します。その程度が著しい場合には塗膜が流されたりすることもあります。

現場の環境にもよりますが、スーパーK E P T上塗を施工後、湿度が高い状況で乾きが遅かったことや、夜になり風の対流も少なく結露が発生(飽和状態になる)し造膜前に水分の影響があり充分成膜していない状況で雨が降ったことにより塗膜が白化したのではないかと考えられます。(施工後、成膜までの造膜過程に水の影響を受けると一度乾燥しているように見える塗膜に再度水がきた場合、健全な塗膜に比べ白化しやすくなります。)

降雨の状況にもよりますが、今回の降雨は時間も長く、完全に成膜していない箇所に水が長時間介在したため接着不良の原因になったものと考えられます。

又、スーパーK E P T上塗施工状況を確認しますと若干塗付量のばらつきが確認されます。おそらく施工時の環境から若干塗布量の違いによって塗膜の再乳化、塗膜が白化した可能性も考えられます。

K E P T工法(タイルの剥落問題より、鹿島建設、竹延の共同開発工法)は発売以来数々の物件にて採用されておりますが、今回のような不具合が発生した事例はありません。今回施工した箇所全てで発生しているわけではありませので材料的な問題よりも環境による影響が大きかったものと考えられます。

以上

株式会社KMユナイテッド
フジワラ化学株式会社